

アーバンサーファークラズの足元は、いつだってヴァンズとコンバースの指定席なのだ。

THE DAY

VANS, CONVERSE & AUTUMN STYLE

第2特集
ファッション、
食、運動etc…
秋からはじめる
17のコト。



特集 VANSと CONVERSE

2016 AUTUMN ISSUE No.19



第3特集

この秋着たい、ワークと
ミリタリーのいろいろ。

Illustration: TATSUYA YAMAGUCHI



マタンダイニングテーブル チーク¥64,000 (イデー)、サイド
コーム¥5,500、SY4,000、ビーコックオブジェ¥7,400 (ヒトコ)
すべてイデーショップ ヴァリエテ 渋谷店 ☎03-6434-1641
シルスタッキングチェア ¥23,500 (カーカトウィック)、メタル
ルボックスシルバー ¥11,000、ブラウン ¥7,800、クロスステ
ーム各 ¥2,960、レタースタンド ¥4,900 (NVF)、カップ＆ソー
¥1,200 (アデレックス、すべてクスクスファニチャー ☎03-3400-
2530)、3コンディメントスタンド ¥12,800 (サ・コンランシヨップ)
ミンゴブレイスマット ¥3,000、ヘオリット15 ¥70,800 (バ
ルフセン)、メイデイホワイト ¥18,000 (フロス)、急須 ¥4,100
すべてサ・コンランシヨップ ☎0120-04-1660)、ウォールハンギ
ポウル ¥30cm ¥3,300、台40cm ¥5,500 (ワイメンクラフト)
プーハンギングランプ ¥21,000 (デュックフォン)、ロジャー
¥18,000 (シカデザイン)、レザーバスケット ¥18,000 (エ
キーウェイ ¥9,200 (ストーンクッション、すべてセンプレ 本店 ☎
6407-9081)、PK24シェーズロンク ¥1,641,000 (フリッツ・ハン
フリッツ・ハンセン 青山本店 ☎03-3400-3107)

人

にはそれぞれ、密かに自分
だけで愉しむ時間というも
のがある。その間だけは、だれに
も煩わされずに、ほかのいっさい
を忘れて、その時間を過ごす。そ
れは映画かもしれないし、本の中
かもしれないし、音楽を聴くこと
かもしれないし、絵を描く時間か
もしれない。外に出て身体を動か
すこともかもしれないし、なにもせ
ずにゆっくりと眠ることなのかも
しれない。今回の場合でいえば、
それは部屋の中だ。

てきた男が、何時間も同じ場所に
座っているのが、窓から見える。そ
ういう雰囲気の場所。

部屋の中には、まず本棚があ
る。入っている本の大きさはバラバ
ラだ。写真集もあれば、小説もあ
る。漫画もあれば、週刊誌もある。
家具としての美しさのために存
在する本ではなく、時間を持ってあ
ました人が、その瞬間に惹かれた
文章を読み、考えをめぐらすため
の本たち。そこから少し奥に入る
と、小さなテーブルがある。人が
ふたり並んで座ってちよつとい

くらしいの大きさのテーブル。だれ
かと並んで座るためじゃなく、ひ
とりで座ったときにもうひとりぶ
んの余白を気持ちよく過ごすため
の大きさ。その後ろには、ソファが
ある。25人分くらいの幅の、ゆつた
りとやわらかいソファ。夏にちよつ
どいい素材が使われていて、クッ
ションにも同素材のカバーがかけ
てある。ソファの生地のおうえには、
くすんでいるけれどカラフルな布
が敷かれている。どこかの国の伝
統刺繍のようでもあり、どこかで

もありそうでもある、肌ざわりの
いい布。ソファの後ろには、大きな
窓がある。昼間はそこから陽が差
しこむようになってくるから、電
球はない。陽が沈んだらテーブル
ランプをつけて、お腹がすいたら
なにか食べ、お酒を飲み、タバコを
吸う。気が向いたら思いつきで物
語を書いてみるのもいいかもしれ
ないけれど、きつとこの部屋では
あまり進まない。

ソファと直角に、ひとりで座る
ための椅子がある。そこに座って、
「橋をわたると」という旅の本を
開く。篠山紀信が写真を撮り、小
田豊二が文をよせ、カンタス・オー
ストラリア航空が1970年代に発行
した本だ。そこには、こんなこと
が書いてある。

「旅の終りは寂しいものだ。も
う二度と同じ人には会えないし、
同じ感動は得られないとわかって
いるから。だからこそ、旅がはじ
まると同時に、小さな道があれ
ば、曲ってみたいし、汚れた店があ
れば、何か買ってみたいんだ。道端に
可愛い花が咲いていれば、心を寄

せ、そして友と、覚えてたのその
国の歌なんか歌ってみたいだし。
でも、旅は終る。あつという間に終
る。未知の土地で、見知らぬ人と
のあのふれあいは、心の中にしか
存在しないのである」。

そこまで読んだら本を閉じて、
この部屋の中にしか存在しない休
息の中で、やつと深呼吸をする。
ゆっくりと息を吐いて、ゆっくり
と吸う。目をいちどつづつて、もう
いちど開けると、夢から覚めた瞬
間のように、今までの場所が仮
のものだったように思えてくる。
不思議な場所。そうだ。ここに来
るときは、たったひとりがいい。だ
れかと一緒に来ると、部屋は部屋
でなくなってしまうかもしれない
から。どちらが夢なのか、曖昧じゃ
なくなってしまうから。

つぎにこの部屋に来るのは1週
間後かもしれないし、1年後かも
もしれない。もししたら、もうこ
れが最後になるかもしれない。で
も、ここでしか過ごせない時間あ
るうちは、かならずまた訪れる。
ここは、どこにも似ていない。

「とある部屋」を用意してくれたREISM (リ
ズム)は、都心で働く20~30代の「スタイ
ルのある」シングル向けリノベーションルー
ムを提案するライフスタイルブランド。あたら
しい暮らしに出会える。www.re-ism.jp



一人で使うのに寂しくない、でも狭くもな
いダイニングテーブル。空港の内装を手が
けたコリアン・リーによるオランダ製の椅子
ネーズ ストーリーズ」、「橋をわたると」
インテリアではない、読むための本たち。

この空間を特別にしてくれるシェーズロン
グ。革ではなく藤を選べば、まるでビーチに
いるように気軽に座れる。冬は毛皮のブラン
ケットをかけて、ハンドメイドのツールは
テーブルになったり踏み台になったりする。

旅先では、その土地にしかないと感じたも
のを買ってしまうが、実際にそうなのかはわ
からない。海で貝を拾うのも同じ理由。この
部屋にレコードはやりすぎな感じがして恥ず
かしいので、いいスピーカーを置く。

フロスの名作として長く愛されてきたライ
ト、MAYDAY。コードが長く、バーやフック
に引っ掛けたり、床に置いたり機能的。1日
を終えてつぎの朝を迎えるためには、なるべ
く夜は暗く静かであってほしい。



REISM




「とある部屋」を用意してくれたREISM (リ
ズム)は、都心で働く20~30代の「スタイ
ルのある」シングル向けリノベーションルー
ムを提案するライフスタイルブランド。あたら
しい暮らしに出会える。www.re-ism.jp

「Rough」と名づけられたこの部屋は、ベ
イントも釘打ちもOKのカスタムウォール、
広いルーフバルコニーが魅力。日光浴、
本、コーヒー、自分だけの世界を充分に楽
しめる空間。